

# 日本語科目 講義内容

科目名	春学期：Japanese Language and Japanese Culture A (Japanese L&C A/日本語・日本文化 A)		
	秋学期：Japanese Language and Japanese Culture B (Japanese L&C B/日本語・日本文化 B)		
担当者	春学期：嶋原 耕一 (Shimahara, Koichi) 秋学期：嶋原 耕一 (Shimahara, Koichi)		
開講学期	春学期・秋学期	単位数	各 1 単位

## 授業の目標

履修のための日本語レベルは問わない。日本語という言語に関連する文化的・歴史的背景や事例を日本語の言葉や表現とともに学び、日本語という言語に対する興味を深め、日本語という言語を知ることを目的とする。

## 授業の内容

日本語の語彙や表記、慣用表現などについて、その背景にある文化的・歴史的なことから触れながら学んでいく。授業は英語と簡単な日本語で行われる。講義も行うが、学生同士のディスカッションや調査なども行うため、積極的な参加が望まれる。

## 授業計画

1. ガイダンス
2. 俳句、短歌(日本語の音のシステム、音とかなの結びつき)
3. 名前 漢字(有意味な文字の利用)
4. 日本のマンガ①(擬音語、擬態語、多様な表記使用、縦書きと横書き)
5. 日本のマンガ②(役割語、位相)
6. 色のイメージ
7. 食文化、生活習慣(助数詞、料理用語)
8. 冠婚葬祭(決まり文句)
9. 日本人らしさ・考え方・習慣  
—やっぱりあれよね。この服のほうがいいわよね。「あれ」って何?  
—受身形/使役を使うと丁寧?

10. 日本語の歴史(カード、カルテ、カルタ/ホテル? 旅館? 宿?)
11. 日本人の名前①
12. 日本人の名前②
13. 日本のまつり
14. 振り返り

上記のようなトピックの中から毎学期いくつかをピックアップして、講義、ディスカッション、調査なども含めながら学ぶこととする。

## 成績評価方法・基準

出席およびクラスへの参加度30%、課題・プレゼンテーション 40%、レポート 30%

## テキスト

プリント教材。

## 参考文献

指定しない。

## 準備学習・その他(HPなど)

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。